

会 議 録

会議名	令和4年度 第7回 小金井市学童保育所運営協議会	
事務局 (担当課)	児童青少年課	
開催日時	令和4年11月22日(火) 19時00分～21時00分	
開催場所	本町暫定庁舎1階第一会議室（一部オンライン会議）	
出席者	委員	深草委員長、田畑委員長、大澤委員、中山委員、鈴木委員、松川委員、下田委員、佐藤委員、良知委員、沢村委員、大島委員、大村委員、馬場委員
	事務局	野村学童保育係長
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p>(1) たまむし第3学童の移転について</p> <p>(2) 上水グラウンドの使用について</p> <p>(3) 災害時の対応について</p> <p>(4) 利用者アンケートの結果について</p> <p>(5) その他</p> <p>3 閉会</p>	
配布資料	<p>【資料4-20】利用者アンケートの結果について、</p> <p>【資料4-21】利用者アンケートの結果（自由意見）</p> <p>【資料4-22】学童保育所の在籍児童数・平均利用人数及び一人当たり育成室面積について</p>	
議事	<p>1 開会</p> <p>委員長からの開会の挨拶、議題の紹介</p> <p>2 議題</p> <p>(1) たまむし第3学童の移転について</p> <p>(市)</p> <p>たまむし第3学童は、来年度からの35人学級の導入に伴い、現在東小の協力で使用させてもらっている低学年用図書室が利用できなくなることから、絵画室に移動する予定。来年1月初旬に工事が始まるタイミングで移動予定。</p> <p>(学)</p> <p>現在の教室と比べて狭くなるわけではないようなのでひとまず安心している。学童保護者にも案内は配られたか。引き続き情報共有をお願いしたい。</p> <p>(市)</p> <p>準備の進捗に沿って情報共有させていただく。</p>	

(学)

35人学級の導入は他の学校でも同様だと思われるが、他の学童でも同じような移転の動きはあるか。

(市)

まずは施設をお借りしている学校側との調整が先。その後運営協議会や関係学童の保護者に情報提供する。

(学)

学校の35人学級導入に伴って学童の指導員の配置基準が見直されるような動きはあるか。

(市)

H27(2015)年度に定められた40人の基準で運営してきており、関係する条例もある。変更は特に予定していない。

(2) 上水グラウンドの使用について

(学)

今年度学保連の運動会は11/3に各学童の判断で部分的に実施した(うち3学童は合同)。これまで学校に場所をお借りして実施してきたが、騒音、駐輪場、芝生を傷めるなどの問題が指摘されている。来年度(たけとんぼ担当)上水グラウンドでの開催を検討したいが、市側で予約の枠確保の調整をしてもらうことはできないか。

(市)

上水グラウンドの予約方法を確認する。開催時期を11/3から別の時期に移動することは可能か。

(学)

現状で予約可能かどうか。可能な場合の流れを市側で関係部署に確認をお願いしたい。

(市)

確認する。

(3) 災害時の対応について

(市)

災害時に鉄道の計画運休などが実施されるようになり、災害時の学童開所が困難になっている。前回、他市の事例などを参考に、当日7時に暴風警報・特別警報が出ていたら、児童は自宅待機、10時30分の段階で暴風警報もしくは特別警報（暴風・大雨・大雪）が解除なら、事前連絡の上、12時から受け入れ（児童のみの登所可）。10時30分の段階で未解除なら閉所、という案を提示した。保護者側の反応はどうか。

(学)

前回会議の場では基本的に理解を示す反応だったが、学保連では慎重な意見が出た。具体的には、様々な職業の保護者がおり、非常時こそ市の施設が利用できることが大事、急すぎる、エッセンシャルワーカーの保護者が子の預け場所を失うなど。

次年度からの変更はちょっと厳しい印象。1つの学童では保護者アンケートをとって保護者の意向を調べてはという案も出ている。また他の学童では指導員の安全確保が基本なのでOKという反応だが、災害にもいろんなパターンがあり、基準をクリアにしてほしいという意見が出た。市内2か所など数を限定して開所というのものもあるのでは、という意見もあり。役員会では理解が示された。メールで他の保護者から特に意見は出ていない。

(市)

引き続き協議したい。

(4) 利用者アンケートの結果について

(市)

利用者アンケートの集計結果を共有する。1,385世帯がいる中、回答は670。単純に計算すると回答率48.3%。H30(2018)年、R1(2019年)のアンケートでも回答率は同程度だった。H27(2015)年は70%近かった。自由回答では老朽化、スペースの問題への意見が第3学童のあるところで多い傾向があった。紙ベースの回答は9件で、紙がほしいという要望は特になかった。

(学)

リマインドをしたか。紙版があると集計が遅れる。来年度からウェブ版だけでいいのでは。

(市)

リマインドはしなかった。来年度検討したい。紙版をなくす

か、次年度以降のアンケートの回数とタイミングも含めて今年度の運営協議会のメンバーで決めたい。

(学)

学童別に同じような円グラフの結果を出せるか。

(市)

確認する。

(学)

直営だけではなく、委託先の指導員に今回の結果を共有しているか。

(市)

検討する。

(学)

自由回答は、どのような種類の回答が何件あったぐらいの要約を保護者に返す形でいいのでは。メインの円グラフでもスペースの問題で満足度が低いなど大事な傾向が出ているので、それも含めて結果の保護者へのフィードバック方法の検討をお願いしたい。

(市)

検討する。現時点では学保連や各学童役員会で円グラフをお願いしたい。

フィードバックの形式を検討して次回提示する。

(5) その他

(市)

第三者評価について、近隣市に確認中・次回にも報告予定。

(市)

提出資料について、各学童の在籍児童一人当たりの面積を、算出方法を変えて提示した。分母となる平均利用人数を週5日以上利用者（5月時点の申出ベース）でカウントした点の変更点。

(学)

たまむし第2が狭いが、比較的広い第1と定員を割り振るなどで調整できないか。

(市)

定員はあくまでロッカーのある場所でカウントされているが、実際は第1と第2は実際渡り廊下でつながっており、つねに定員の場所で過ごしているわけではない。来年度定員の設定では配分を見直すことを検討してもよいかもしれない。

(学)

スペースの問題が深刻な学童の現状を市の職員は視察しているか。

(市)

児童青少年課の職員が機会あるごとに各学童に行っている。

(学)

スペースの問題はずっと指摘されてきたが、解決の道筋が見えない。指導員の懇談会で現場でも困っているという声が聞かれた。すぐに解決する問題ではないことは理解しているし、全入を維持して運営を続けてもらっていることは保護者側も大変感謝している。一方、解決の道筋が全く見えない中、育休や夏休みの在籍見直しのような場当たりの対応が提案されて、保護者としても不安が募っているところがある。

(市)

重要な課題であることは同様に認識しているが、場所の確保や調整、増築などどうしても時間がかかることは理解していただきたい。

(学)

保護者側から公民館やプレハブ利用など提案もしてきた。すぐに解決しないまでも、解決に向けた方向性を示してくれると保護者も安心できる。

(学)

市側から、育休・夏休み期間中の学童在籍や災害時対応など重要な案件の提案をされることが続いており、保護者側の意見集約の難しさを感じている。アンケートのように、前のメンバーでいったん決定されたことが再度議題に上がり、それにかなりの時間を割くことになったものもある。来年多くの委員が入れ替わりになることもあり、重要な案件について運営協議会での議題の上げ方、保護者の意見集約の仕方など、次回に提案をしたい。

(市)

運営協議会にはいろんな案件の議論をお願いすることになる。基本的にはこの場で決めるのが基本。今年度の案件もこのメンバーでまとめる方針を基本としたい。

3 閉会

次回の日程および内容は副委員長と調整し決定する。
それでは令和4年度第7回小金井市学童保育所運営協議会を閉会する。